

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 三木麻理恵

1. はじめに

この度、私は2016年2月26日～3月27日の4週間、本学の国際交流基金の助成を受け、UKのロンドンにある Language in London という語学学校にて短期語学留学をさせていただきました。

以前から海外や英語に興味があり、イギリスの文化や伝統を学び、英語力を向上させたいと思い留学することに決めました。

2. Language in London

Language in London は、ロンドン中心部の大英博物館の裏手にあり比較的小規模の学校です。3月のロンドンはまだまだ寒くオフシーズンであるため、学生数も少なくクラスの人数が5～9人であり一人一人がしっかり発言できました。また聞きたいこともすぐに聞けるとても良い環境でした。クラスメイトの国籍は、フランス・ベルギー・スイス・イタリア・チェコ・コロンビア・台湾・イラクなど多岐に渡っていました。やはり近い距離にあるため EU 圏の生徒が多いと感じました。事前にウェブテストを受けていましたので初日からクラスに入り授業が始まりました。授業は会話をする事が多く、リスニング力は向上したのではないかと感じます。また、文法を学ぶのにももちろんすべて英語であるため最初は慣れるのに必死でしたが、2週目からは慣れてきてすぐに答えられるようになりました。ここの学校では毎日教室が変わり心機一転できることも、良い環境であったと思います。先生が一人一人の発音の弱点を分かっている、しっかり正してくれるのもとても良かったです。わたしは sh の発音が弱いそうで、sh から始まる単語のリストを作ってくださいました。他の生徒も個々の発音の弱点の単語リストをもらっていました。

今まで私が学んできた英語はアメリカ英語なので、イギリス英語と異なることが多くありました。例えば、アメリカで color や center と書くものがイギリスでは colour や centre というつづりであったり、発音もアメリカ英語と異なるものが多数あり先生によく直されたりしました。これまでは触れる機会がなかったイギリス英語を学べることはとても貴重な体験となりました。

月水金曜日の午後は学校のアクティビティがあり、それに参加してスクールメイトとの交流をはかったり、グリニッチやマーケットやハリーポッターのロケ地などロンドンのいろいろなところに赴いたりしました。スクールメイトはみんな優しく、あまり英語が話せない私でしたがとても優しくしてくれたので、本当に楽しい時間を過ごすことができました。学校では土日のアクティビティも仲介してくれたので、ロンドンから少し距

離があるストーンヘンジやバースへも行きました。



*写真1：クラスメイト



*写真2：アクティビティにて

3. ホームステイ

ホームステイ先は、コロンビア人の家庭でした。学校から地下鉄で2駅の立地であったのでとても通いやすく、治安も良いところだったので良かったです。ホームステイ先は優しいご家庭であり、特にルールなどもなく、とても自由に過ごすことができました。晩ご飯は、コロンビアンなものやブリティッシュのものを作って頂きました。UKのご飯はまずいとよく耳にしますが、そんなことは全くなく毎日とてもおいしかったです。ご飯のあとにはその日のできごとやロンドンの良いところ・観光名所などについてお話ししました。文法や単語を間違えると正してくれたり、分かりやすく少しゆっくり話してくれたり、本当に優しいホストファミリーでした。滞在中にホストドーターの10歳の誕生日があり、誕生日パーティーにも参加させていただきました。遊びに来た子供たちとも遊んだり、英語を教えてもらったりとても楽しい時間となりました。



*写真3：ホストファミリー



*写真4：バースデーパーティーにて

4. 休日

土曜日・日曜日は語学学校が休みなので、ロンドン市内の観光や、ロンドンから少し遠いコッツウォルズやオックスフォード、そして前述しましたストーンヘンジやバースなどへ行きました。ロンドンだけではないイギリスのさまざまな都市を訪問することで、イギリスの都会部分だけではなく、ゆったりとした田舎風景も見ることができてよかったです。

また滞在最終日である金曜日がイースター期間の **good Friday** という公休であったので、トラファルガースクエアヘジーズの演劇を見に行きました。公休であるし天気もよかったため、大人から子供までたくさん見に来ていました。



*写真 5：オックスフォードのクライストチャーチ



*写真 6：コッツウォルズ

5. 終わりに

この短期留学を通じて、やはり英語は国際的なコミュニケーションには欠かせない言語であり、さらに学んで英語力の向上に励みたいと思いました。

また、イギリスの地下鉄では、お年寄りの方や妊婦の方が乗ってこられると、座席に座っていた人がすぐに立って席を譲っており、譲ってもらった側もとても快くその席に座るといふ光景がよく見られました。それは本来あるべき姿ではあると思いますが、わたしはそれがとても印象に残っておりイギリスが大変すてきな国だなと感じた1つの理由となりました。

それと同時に日本の素晴らしい文化にも改めて気づくことができました。礼儀であったり所作であったり言葉の豊富さであったりです。そして日本人としてもっと自国について知っておかなければいけないなと思いましたし、もっと日本語や日本の文化を大切にしたいと感じました。